

月がとっても蒼いから

片桐英数塾通信

河合サテライトネットワーク校
 全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
 TEL 24-1337
 FAX 82-6185
天神教室
 TEL 23-1899
 E-mail
 info@katagirijuku.com

「弱さ」があつて「強く」なれる。

強くなろう。大きくなろう。

「今年も九月に突入かあ・・・」などと思いながらしみじみと夜空に浮かぶお月さまを見上げておられます。今年の初めからの出来事が頭の中に浮かんで来ます。いろいろなことが浮かんでくるのですが、その中でも、今年になって私自身が塾生(塾OB)から教えられたことを思い出して、「今頃頑張ってるかな?」などと思つたついでと言つては失礼ですが、そのことを書いてみようと思ひます。

彼が入塾してきたのは高3の十一月でした。野球部に所属していたので、早稲田大学に進学し、大学でも野球をするのを夢見ていた子でした。本人は推薦で進学しようと考えていたのですが、十一月までほとんど受験勉強らしい勉強はできてなかったのですが、推薦はうまくいかず、一般入試での挑戦となつ

てしまつて当塾にやつてきたのでした。「間に合いますかね?」と聞かれても「とりあえず死ぬ気でやれ」としか言つてあげることができませんでした。実際、入試まで、本当に必死になつて頑張つていたと思ひます。が、結局その年の受験はダメでした。補習科に進学したということもあり、再び、塾に顔を出すようになったのが初夏の頃で、その時に受験から後、どうやって過ごしてたかを聞きました。彼曰く「自分は大学受験を甘く見ていた。何も分かつてなかった。だから、まず、自分は勉強法から学ぼうと思ひ、早稲田で受験を終えたその帰り、東京駅にある本屋に寄り、そこで勉強

法のことを書いてある本を買つた。そこに、中学の力の大切さが書いてあった。自分はそのことからと思ひ、中学からやり直していた。」「と、ちょっと照れ臭そうに言つてました。受験から後、深い反省と、絶望などがあつた、精神的にも追い込まれたりもしたと思ひますが、そんな状況の中で、自分の弱点和素直に向き合えた彼は素晴らしい。彼が再び現れたその時には、「自分はやれる」という手応えを感じた顔になつてました。実際、ここからが凄かった。この模試だったかは忘れませんが、全国の成績優秀者欄に記載されるまでになつていたので覚えておきます。本番では難関と言われる私立大学に片っ端から合格していきました。合格発表の度に電話をくれ、私もその度にガッツポーズをしてました。最後の本命である早稲田大学の発表でも合格したとの連絡をもらひ、私は感心するばかり。しかし、しばらく本人は悩んだようです。勉強の楽しさを覚えてしまひ、もっと学問を深めたいという欲求が強くなつてしまつたので、

野球をしようかというふうにか・・・。そこは、初志貫徹ということでも、今は野球に頑張つています。大学に行く前の三月にも顔を出して、「自分はこの時推薦がうまくいかず辛かつたけど、浪人もしてしまつたけど、勉強を頑張つて本当に良かった。」と言つて笑つてた顔が忘れられません。

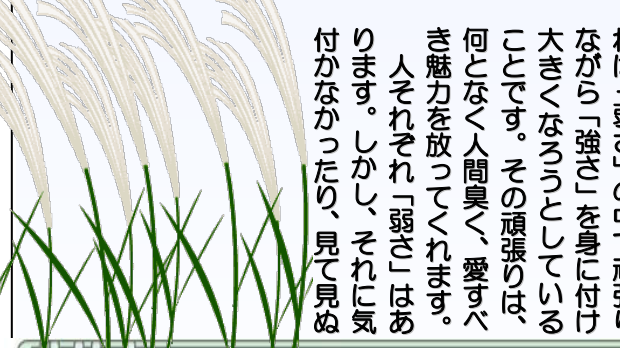
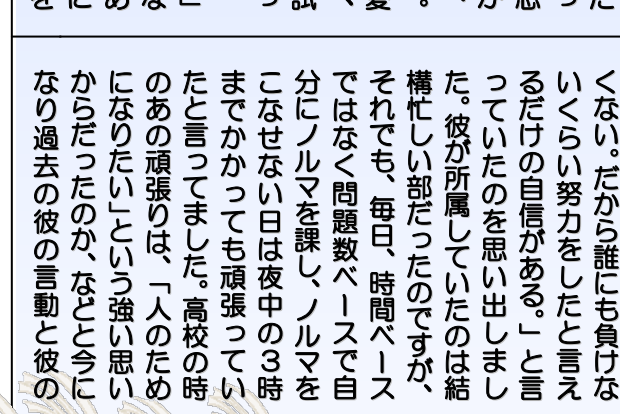
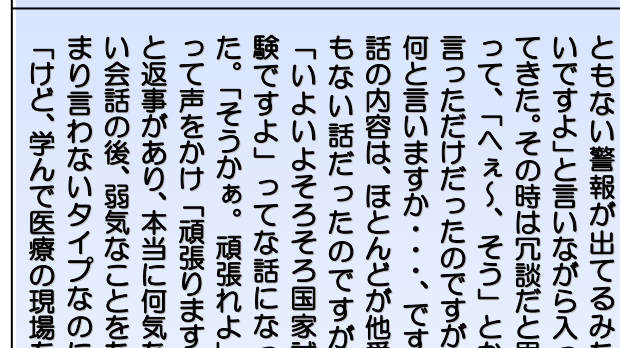
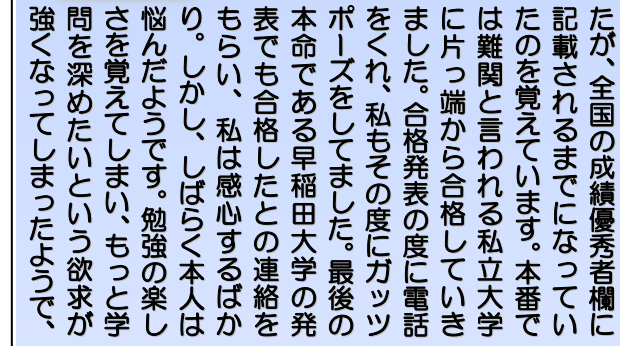
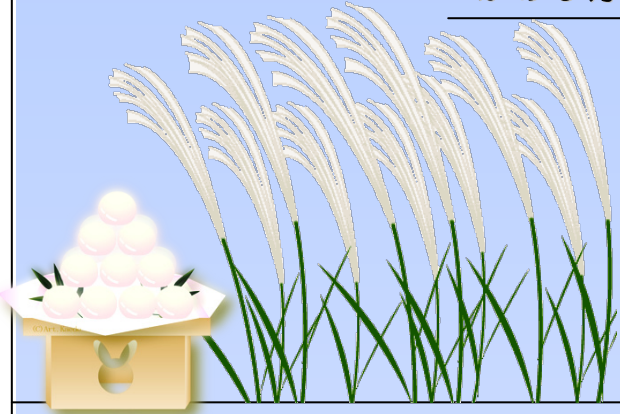
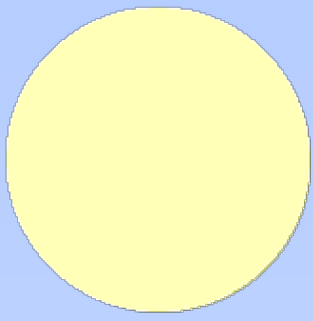
もう一人ご紹介。彼は随分前の卒業生で、今はある国立大学の医学部へと進学し頑張つておられます。彼が久しぶりに顔を出してくれたのは、あの三月十一日。しかも午後二時五十分。車のラジオで言つてたんですけど、何か大きな地震があつて、大津波警報つて聞いたことでもない警報が出るみたいですよ」と言いながら入ってきた。その時は冗談だと思つて、「へえ、そう」とか言つただけだったのですが、何と言いますか・・・です。話の内容は、ほとんどが他愛もない話だったのですが、「いよいよそろそろ国家試験ですよ」とな話になつた。そこかあ。頑張れよ」と声をかけ「頑張ります」と返事があり、本当に何気ない会話の後、弱気なことをあまり言わないタイプなのに「けど、学んで医療の現場を

知れば知る程、やはり怖くなることもありませう。けど、負けませぬよ。」と云う。医療の現場というものは、人の命を扱うだけに、想像以上の責任の重さがあり、その道に進もうとする者のプレッシャーも相当大きいようですよ。それにしても、いつも強気なくせいらしくないことを言うなあ、という感じで見ていると、「あ、こつ見えても、人一倍、人のためになりたいと思つて自分に負けないように頑張つておられますよ」と笑ひながら、また来ます、と言つて帰つていった。彼が高校を卒業した時くらいだったが、「自分は絶対に負けたくない。だから誰にも負けたくないくらい努力をしたと言えただけの自信がある。」と言つていたのを思い出しました。彼が所属していたのは結構忙しい部だったのですが、それでも、毎日、時間ベースではなく問題数ベースで自分にノルマを課し、ノルマをこなせない日は夜中の3時までかかつても頑張つていたと言つてました。高校の時のあの頑張り、人のためになりたい」という強い思いからだったのか、などと今になり過去の彼の言動と彼の

思いが繋がり、胸を打たれたのでした。

2件のお話を書かせて頂きましたが、塾生と日々接していると、教えられることが多いです。何故かこうも感動してしまうのか? そんなことをお月さまを愛でながら考えておりました。頑張つたから胸を打たれたのか? いや、頑張つたからだけどころも胸を打たれはしない。では何だ? などと自問自答しておりました。ふとある結論に行き着きました。

感動を与えてくれる人に共通して言えること。それは「弱さ」の中で頑張りながら「強さ」を身に付け大きくなろうと思つていることです。その頑張り、何となく人間臭く、愛すべき魅力が放つてくれます。人それぞれ「弱さ」はあります。しかし、それに気付かなかつたり、見て見ぬ



坂本教室からのお知らせ

坂本教室の9月の休日は、

4日(日) 11日(日) 18日(日) 25日(日) です。

尚、10日(土)は、観一祭の為、

坂本教室は16:00~となります。

塾からのお知らせなどをホームページにて配信中!

<http://www.katagirijuku.com>

メールでの連絡はこちらまで

katagirijuku@docomo.ne.jp